

二五〇七番

玉梓たまほこの道行みちゆき占うらの占正うらまはに妹いもは逢あはむと我われ  
に告のりつる

二五〇八番

天皇すめろぎの神かみの御門みかどを恐かしこみとさもらふ時ときに  
逢あへる君きみかも

二五〇九番

まそ鏡かがみ見みとも言いはめや玉たまかぎる磐垣淵いはかきふちの  
隠こもりたる妻つま